

外国語学部学生 各位

## 2022年度前期 Semester 留学（現地派遣型プログラム）の再開について

外国語学部

名城大学では、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大状況に鑑み、外務省の定める危険情報が発出されていないことを留学再開の条件としています。

その一方で、国内外でのワクチン接種が進捗しつつある状況ならびに感染症に対する対応策の蓄積、大学拠点接種にて学生がワクチン接種を希望する場合の接種機会が設けられた状況に鑑み、**外務省の定める感染症危険情報レベルがレベル2またはレベル3の国にて実施する学部主催のSemester留学をまずは条件付きで再開し、下記条件を全て満たした場合に限り、参加申込を特例で認めます。なお、長期留学の実施再開時期は引き続き検討中です。**

申請手続きなどの詳細は別途お知らせしますが、国内外の感染状況は刻一刻と変動しているため、みなさんが安心して現地での学修に集中できることを第一義的に考え、渡航時期を含め決定事項であっても急遽変更する場合があります。学部が発信する最新情報を常に確認し、指示に従ってください。

ワクチン接種判断に関しては、医学的理由（ワクチンアレルギーその他の健康上のリスク）などを考慮し、学生本人の自由意思によります。その一方で、渡航先国・大学等がワクチン接種を入国時・留学参加条件としている場合（現時点でワクチン接種が義務付けられていない場合であっても、今後義務化される場合があります。）やワクチン接種の有無に基づく行動指針・制限を設定している場合はその指示に従う必要がありますが、この場合を除き、本学では、留学希望者には日本政府が承認した新型コロナワクチンを2回接種し、かつ2回目の接種から2週間が経過していることを強く推奨しています。なお、留学参加希望だが接種ができない学生に対しては、提携大学のオンラインプログラムへの参加機会を提供しますので、そちらも検討してください。詳細は別途お知らせします。

## &lt;留学申込要件&gt;

|   |  |
|---|--|
| ① | 学生及び保証人・保護者が留学を強く希望していること。   |
| ② | 学生及び保証人・保護者ともに、渡航先が外務省の定める感染症危険情報レベルにおいてレベル2以上の場合の渡航リスク（移動および現地滞在時における感染のリスクやそれに伴う後遺症のリスク等）を十分に理解し、準備段階から帰国時を含む留学期間中に生じうる感染症に起因する、例えば査証発給の遅延（日本国籍以外の学生は特に留意すること）、PCR等の検査と検査結果証明書発行に伴う追加費用および自主隔離措置に伴う追加費用等を含むすべてのことに対して責任及び経済的負担を負うことに同意できること。 |
| ③ | 名城大学としても渡航先機関および海外旅行保険会社等の協力のもと安全確保には最善を尽くすが、渡航中は独力で対応しなければならない各種状況が発生しうることを十分に理解すること。そのうえで、「自分の身は自分で守る」という大原則に基づき、渡航先国および滞在する州の感染状況、行動制限、感染した場合に取るべき行動など自主的な情報収集などを行い、罹患した場合の受診方法（予約を含む手順）を理解したうえで現地にて学生本人が各種状況に独力でも対応できるよう準備できること。           |
| ④ | 学生及び保証人・保護者は、渡航先の感染状況や治安の状況により本学が帰国勧告などを決定する場合があることを理解し、その場合は速やかに指示に従うこと。またその際に発生しうる経済的負担を負うことに同意できること。  |
| ⑤ | 基礎疾患など健康上の懸念事項がある場合は、事前に学生と主治医と保証人・保護者（もしくは同等の責任を負える者）を含む3者で健康な状態で留学期間（帰国時を含む）を全うできることを約束できること。  |
| ⑥ | 渡航期間が3か月以上の場合、「在留届」の提出が義務化されているため、渡航後に速やかに外務省へオンラインで提出手続きを行うこと ※渡航期間が3か月未満の場合は渡航前に「たびレジ」に登録すること。   |
| ⑦ | 本学が指定する事前オリエンテーションなど、留学実施に関わる全ての行事に参加できること。  |

## 今回のポイントと留学概要

### ・今回のポイント

- ・コロナ禍にあっても学びを止めないために、例えばオンラインを活用した学部独自プログラムであるCLAB (Collaborative Learning Across Borders) プログラム (学部開設の2016年度から運用) の推進のほか、オンライン留学、政府推奨国際事業への参画、アジア諸国の学生らとのグローバルPBLや自主交流会、アメリカや香港、タイ等の大学との授業交流など、ニューノーマルな学びにも挑戦しており、これまで交流機会が得られなかった世界の学生とのオンライン協働学修の体験を通じて、学生たちも期待以上の成長をしてくれている。
- ・その一方で、オンラインを活用した学びからは一定の学修成果が得られているが、本学部が開設当初から大切にしている「体験重視型の学び: Hands-On Learning」の重要性を再認識する機会にもなり、国内では体感できない留学先での異文化体験やそこで養われる実践力向上の機会を模索していた。
- ・現地派遣を希望しない学生へは、オーストラリアなどでのオンラインプログラムでの学修機会も引き続き提供する。
- ・コロナ禍以前は、今回と同じ時期に約25名をカナダとアメリカ、オーストラリアへ派遣していたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、学生の安心安全を第一義的に考え、2020年度から本学全体で留学派遣プログラムを中止しており、外国語学部では、現1年から3年生が海外渡航を伴う中長期の留学プログラムへの参加を延期していた。

### ・再開するSemester留学の概要

|           |  |
|-----------|--|
| 留学種類      | 学部主催Semester留学 (12~14週間)                 |
| 派遣先国      | カナダ                                      |
| 留学先大学     | 5大学 (附属語学学校)                             |
| 派遣人数      | 約60名を見込む ※事前アンケート結果に基づく                  |
| 対象学年      | 1年生~3年生 (渡航時点では2年生~4年生)                  |
| 派遣時期      | 2022年4月渡航予定                              |
| 今後のスケジュール | 今月から学生、保証人向けオリエンテーションを実施し、今年中には派遣学生を決定予定 |

### ・学部紹介

外国語学部は2016年に開設した。単に語学を学ぶ学部ではなく、「英語を実践的に運用する力」、「異文化理解力」、「日本理解・発信力」を基盤とし、「生きる力」、「課題発見・解決能力」を備え、実践的なコミュニケーション力を有するグローバル人材を育成することを特色とする。

具体的には実践的なコミュニケーション力を基盤とし、グローバル化社会で活躍するために必要な英語力を有し、英語圏だけではなくアジアをはじめとした異文化・国際社会を理解すると共に、自国について熟知し、言語により世界に発信できる力を備えた人材の養成に重点を置いている。また、日本が文化的にも、経済的にも離れて存立し得ないアジア圏に精通することは、国際社会で活躍するために不可欠であり、異文化の理解には、自文化の理解が不可欠であり、日本の歴史、文化、社会などについての理解をも深め学びを展開している。

学部 HP



学部学びの掲示板サイト



発信元：外国語学部事務室